



里山歳時記

この春桜は心より愛でる事が出来ないまま何となく1つの
 向にか散ってしまった。寒暖差の大きい日々が続いて今は
 もう梅雨である。雨の日窓外の木の枝をヒョイヒョイと渡
 っていく影が有る。ヒヨドリではなく茶色なので蛾眉鳥であ
 る。この蛾眉(ガビ)というのは蛾の触角のような三日月形の
 美しい女の眉、という事らしい。つまりこの鳥は目のまわりにはっきり
 とメガネをかけたように白い線が入っているのです。気がせい
 かこの頃ヒヨドリが少し減ったかなと思われ
 る。もしかするとこのガビチョウあたりが近年ヒヨドリを駆逐し
 始めているのかも知れない。ヒヨドリはキーキーとけたいまいか
 がガビチョウは キロキリチリチリととても上手に長く囀ります。
 ヒヨドリの立場はどうなるか知るよしもないけれど”...



昔と天候の型が変わってきたと言われ
 て久しいが7月8月はやはり夏である。
 地面が暑くなると里山の生き物達
 がそれぞれに活躍し始めると同時
 に道路を渡りきれなかったカエル、ヒ
 ヤタスキがあたりらになつて居る数
 が多いのも夏である。ヒトも含めて生き物
 達の無数のめぐりが行なわれる。

森の家では早々に軒板のすきまでシジウカラが子育てを終え
 た。もう一方の軒ではアオゲラがでかい穴を2つもあけちました。

文・イラスト 石橋



photo by kusumi

花

ア

ル

バ

ム

in

雲門寺



森 藤一郎さんのお宅訪問

松井田の細野が原の一本道は、ドライブしても歩いて気持ちの良い景色が広がっています。その道から北側に少し入ったところに、森さんのお宅がありました。6月のとある日お訪ねすると、奥様と愛犬のリリーちゃんが早速お出迎えです。

当地に来られて、2年と3ヶ月。物件探しをしていた時に、森の家のスタッフ黒羽正明さんのご紹介があって地元の方からお借りすることができました。松井田はからっ風もさほどでもなく、軽井沢にも近く、暑さも東京に比べるとずっと涼しく、思っていたより住みやすいと感じているとのこと。お魚は高崎やネットで求められるようですが、ご近所さんからは新鮮な美味しい野菜を沢山いただくので、食べ物には事欠かないし、何より水が美味しいとおっしゃいます。また、地元の子供達が、道で会うと挨拶をしてくれるので、東京では考えられないことだと驚いておられました。気さくなお人柄で、森の家のイベントや、ボランティアにも参加され、今ではすっかり地元の人とも馴染まれている様子です。



染額 「佃の夜景」

東京生まれの奥様が田舎に来るにあたり、お友達やご家族は心配されましたが、皆さん一度来てみるとここが気に入り、お子さんやお孫さん達も遊びに来るのを楽しみにしていると、とてもいいお顔で話されていたのが印象的でした。

ご自宅の二階が染色工房になっています。ちょうど前日訪問着が仕上がったところでした。振袖・帯を始め、屏風・スカーフやTシャツなどの柄入れ、タペストリー等々手掛けられています。公民館活動の講師もされ、染め物によって地域の文化に貢献しておられます。

今年の4月には、松井田文化会館のホールで作品展示会を開き、市民の目を楽しませて下さいました。「江戸の粋(いき)」を感じる作品が多く、川や海の水面から発せられる輝きをとらえた作品には、控えた色調の中に光に溢れた動きが満ちています。日展の会友、東京都伝統工芸士章など多数の受賞歴と肩書きをお持ちです。作品をじかにご覧



になりたい方は、細野ふるさとセンターの階段の踊り場に掛けられています。松井田の地で、これからどんな作品が生み出されて来るのか、ワクワクしています。

(内田 記)

アトム 訪問記

岡市妙義町にあるNPO法人アトムの障害福祉サービス事業所オリーブを見学しました。

理事長の矢嶋正寿さんは、もみじ学園の職員を経て、当初3名の障がい者の方々とご自宅で共に暮らすことからスタートされました。

現在では、ご自宅に隣接するウエルカムホーム1から、その周辺に建てられているウエルカムホーム2、3、4と「みどり野家」までのグループホーム、ケアホームの運営をされています。

ペンション風の建物で平成12年の設立時、障がい者が生活するホームとしては評判を呼んだ

ウエルカムホーム1から、人目を引きつけることをねらい、「誰が住んでいるのかな？」と思わせるモダンな造りのウエルカムホーム2など、それぞれのホームに意味が込められているそうです。

現在は、このウエルカムホームに10代～60代の合計33名（男性17名、女性16名）の方々が、その人らしい生活スタイルで、地域と交流しつつ、生き生きと暮らしています。半数の方が就労されています。

建物内部はどこを見てもとてもきれいで、お部屋や

布団もきちんと整えられていて、窓から見える風景は緑とお花で、癒しが溢れる環境でした。又、自由に好きなものを飲めるように、お茶セットや救急箱なども各自のものが常備されていて、利用者の方への配慮や愛情が隅々まで感じられます。

矢嶋さんは、障がい者が当たり前で地域で暮らすことのできる社会を展望しておられ、地域にどんどん出ていくこと、問題を起こすことも含めて、特性を知っていただき説明できるチャンスととらえること、ありのままを理解してもらうことが大事だということなどを穏やかに語って下さいました。

自閉症の息子を持つ親である私にとって、勇気と強さをいただき、とても楽になれたお話でした。又、子供にとって大切なことは、親である私たちが見落としがちな“心の自立”をさせることというお話しをいただき、改めてこの部分を大切にしていこうとも思いました。

障がいを持った方たちが地域で暮らすということを日々実践されている素晴らしいところで、とても勉強になり、ありがたい限りでした。

(狩野 記)

特定非営利活動法人 アトム 〒370-2412 群馬県富岡市妙義町下高田 950-1 電話 0274 (73) 3852

森 c a f e 便り



まついだ森の家にて昨年多くの方々にご愛顧いただいた森 c a f e は、メニューをリニューアルし、5月17日に再スタートいたしました。今年度は新たな試みとして、森 cafe オープンの木曜日に合わせ様々なワークショップを企画開催しております。これまでに、ペッパーベリーを使ったリース作りや、春市でも好評だったふんわりアートさんのパステルアート、精油の虫除けスプレー作りなどを行い、cafe のランチともども皆さんに楽しんでいただいております。これからも、妙義山の麓の陶芸家萩原さんによる陶芸教室や、ウクレレがあちゃんのウクレレ体験教室、EM せっけん作り、アロマ講座などなど楽しい企画が目白押しです！

(ワークショップの詳細内容は、森 cafe ブログ <http://moricafe.blog.ocn.ne.jp/blog/> で！)

里山での、挽きたて珈琲の香りのなか、ココロ豊かになれるワークショップでリフレッシュはいかがですか？

森 cafe メニュー

森ランチ+ドリンク+デザート・・・¥1,000



週替わり地場産お野菜たっぷりのワンプレートランチにスープとドリンク&デザート

付き。珈琲はオーガニック珈琲、紅茶は国産の無農薬紅茶を使用。天然だしやきび砂糖、+ 雑穀や豆類を多用しココロとカラダにやさしいお料理を目指しています。

森の家の2階和室2部屋は、小さなお子さま連れでも気兼ねなくごゆっくりとお過ごし

いただけますので、どうぞお気軽にご利用ください*

また、森 cafe では「森ランチ券」を販売いたしております。

ご家族やお友達への日頃の感謝を込めてプレゼント用に、贈場や地域のイベントでの景品に、

お祝いのお返しなどにぜひご利用下さい。

バリアフリーペンションまついだ森の家
森 cafe
森 ランチ 券
週替わりランチ+ドリンク+デザート

見本

森カフェ 毎週木曜日 OPEN 11:30~13:00 ランチ要予約 (森の家 TEL 027-393-0655)
毎週ワークショップ開催中 詳しくは 森 cafe ブログ <http://moricafe.blog.ocn.ne.jp/blog/>
まついだ森の家 群馬県安中市松井田町上増田 670 TEL 027-393-0655

また、森の家の「ご宿泊券」もご用意しております。合わせてご活用ください。お申し込みは森の家まで。

森の家 NPO 法人
バリアフリーペンション まついだ森の家
ご 宿 泊 券
お一人様 一泊二食付き

見本

〒379-0211 群馬県安中市松井田町上増田 670
バリアフリーペンション まついだ森の家
TEL 027-393-0655



大好き珈琲タイム

障害者年金が入るたびに、お気に入りの地元の珈琲屋さんで珈琲チケットを買っています。そしてスターバックスのプリペイドカードにも、毎月決めた額のお金を入金します。もちろん珈琲が大好きだからなのですが、病気のせいなのか元々の性格なのか少し浪費癖があるので、用心のためお財布にあまり沢山の現金を入れないようにしているのです。一文無しで出歩くのはなんだか悲しいけれど、珈琲チケットとスターバックスのカードがあれば、年金でまかなえる範囲内で幸せな珈琲タイムが過ごせるというわけです。

地元の珈琲屋さんはナガツカさんという無口な人で、奥さんと可愛い小さな女の子がいます。このお店、最初に現れた時は、ライトバンにエスプレッソメーカーを積んで紙コップで珈琲を出す移動式のお店でした。珈琲が美味しいのでだんだんお客さんが増えてきて、ライトバンだったのが常設のちいさな屋台になり、ビルの中のテナントになり、一軒家の珈琲屋さんになり、と少しずつ少しずつ店が大きくなったのです。ライトバンから今の状態になるまでには十年以上はかかったと思う。そんな努力の一部始終を眺めていた私は、ひそかに彼を尊敬しています。そして、落ち込んでいる友人を励ましたい時は、ナガツカさんの珈琲をプレゼントすることにしています。こつこつと諦めずに頑張ってきた彼のパワーが珈琲を通して届くといいなあと思っているのです。

スターバックスの珈琲は、ナガツカさんの珈琲ほどのパワーはないような気がするけれど、全国どこのお店に行っても座り心地のいい椅子と元気な店員さんが迎えてくれるのがいいところです。以前働いていた会社のすぐそばにもスターバックスがありました。始業前やお昼休みに珈琲を飲んでみると、いかにもいっぱしの勤め人になった気がして嬉しかったものです。統合失調症が再燃して働けなくなってからは、その店舗に行く機会はなくなってしまいました。顔なじみになった店員さんたちは今頃どうしているでしょう。思い出すと淋しく、懐かしいです。

スターバックスで面白いのは、エスプレッソを注文すると、名古屋の店員さんは、「カップが小さいですがよろしいですか」と訊くのです。

京都のスターバックスに行ったらエスプレッソを注文した時は、「苦いですがよろしいですか」と訊かれました。

東京のスターバックスに行ったらエスプレッソを注文した時の店員さんは、カップが小さいともエスプレッソが苦いとも言わず、「どうぞ」と当たり前のように出してくれました。

つまり多分、名古屋の客は、エスプレッソを前にすると、往々にして「少ないがや」と文句をつけ、京都の客は、「苦いやおへんか」と文句をつけ、東京の客は、田舎ものと思われたくない一心で、「少ないなあ。苦いなあ」と思いつつ黙って飲む、ということなのではないかと思うのですがどうでしょう。そんな人間観察が出来るのも珈琲屋さんならではのですね。

私にとって珈琲は、元気を回復し、エネルギーを与えてくれる、無くてはならない飲み物です。

(ペンネーム) 名古屋市在住。物書き志望。

* 縁あって森の家に宿泊されたお客様です *

こんなイベントありました

バリアフリーアート工房あかね展

同時開催

里山の癒しワークショップ

1月20日(金)～2月13日(月)

春市 in細野ふるさとセンター

4月8日(日)

和太鼓グループ「風だまり」コンサート in細野ふるさとセンター

6月24日(日)

山川紘矢先生講演会

7月1日(日)

こんなイベントします

10月21日(日)

第20回 まついだ夢伝

車いすも、ウォークも、ランも、

みんな共に楽しい時を過ごそう!

《申込先》

まついだ夢伝実行委員会(安中市松井田支所福祉課内)

電話・FAX:027-382-1111(内線2153・2154)

夢伝WEBページ yumeden.web.fc2.com/ をごらん下さい。

森の家もテント出店いたします。

秋のコンサート 11月11日(日)

フォルクローレ グルーポリベラシオン

冬のコンサート 日時未定 青木大輔・笹久保伸

サンポーニャ&ギター デュオ

バリアフリーアート工房あかね展&ワークショップ 1月予定

アスペルガー症候群とは、発達障害の1つで、脳の機能や感覚・認知に偏りがあるが、知的での障害がない自閉症のこと

アスペルガー症候群の堀越風人です。

今回は、発達障害者の新学期についてかきます。僕は今年松井田森の家の近くの松井田高校に受けました。なんと試験なしの前期合格でした。発達障害者でも、ちゃんと高校には行けます。どんなに苦手なことがあっても、コミュニケーションをとることが難しくても、高校にはそういう人をとってくれるところが必ずあります。だから発達障害があるからといって神経質になることもないのです。

肝心なのは、入ってから先です。そして苦手なことはどこ行っても苦手という覚悟をすることです。同じクラスの人が、最初はできないことについていろいろいってくることもあります。

それは自分のことを知らないのだから仕方ないです。僕は数学 19 点でした。同級生にできなすぎだろうって言われました。でもそのうち「あいつはできないんだな」ってみんなが理解してくれます。

そして、とくいなことそのうち認めてくれます。僕は漢字の読みがとても得意で、複雑な字でもたいてい読めます。そのように認めてくれたりほめてくれたりする事もあります。あまり気にしないということが大切です。

高校は面白いです。入試のことよりも、三年間どう楽しむか考えたほうが面白いと思います。僕はとにかくいろいろなことをしてみたいです。挑戦することを楽しむのです。アスペルガーでも生徒会や部長になれます。部長やります。障害者でもやれることは沢山あるということを証明したいです。

こんな本 为您介绍します

著者の中田大地くんは8才、アスペルガーです。

自分の障がいを理解して、特別支援学級を選びました。

「自閉症であってもなくても大地は大地」

パパとママ、支援学級の先生の助けで皆と違うところをきちんと把握し、皆に伝え、困ったことを1つ1つクリアしていく修行をしています。目標は“しっかり働ける大人になる！”

ぼく、アスペルガーがもしれない。



(以下本文からの抜粋です。)

きちんと困る、困ってもあきらめない、どうしてなのか自分で考え工夫を重ねる。

自閉症だと言われても困らない、自閉症でなくても別にいいわけじゃない。

大人になるためのトレーニングが必要なのはみな同じ。各々にあった方法を学びながら各々のペースで大人になっていく。手伝ってくれる人がいるともっと幸せになる。

体調が悪い時は無理しない、気分のよくなることをする。でも、怠けてはいけない。

困っても苦しくても、できることを探してみる。面倒でも疲れてもあと少しがんばる。あきらめない気持ち大切。少しずつ工夫して繰り返しやり続けると面倒じゃなくなり上手になる。下手でもビリでも頑張ればいい。

いろんな人がいる、皆違う。同じような人が少ないだけ（これを少数派という）

間違いではない、普通じゃないわけじゃない。

まさに、障がいがあってもなくても同じ！ 子供でも大人でも同じ！！

みんなみんな発達し続けよう！！というメッセージをもらいました。（文責 黒羽知代）

雲門寺ご紹介（表紙ページの写真参考）

雲門寺は森の家のいちばん近いお隣さんです。

森の家からさらに奥へ歩いて沢を超え5分、車で迂回すると3分です。

400年の曹洞宗の古刹ですが、ぜひ見ていただきたいのがお庭です。

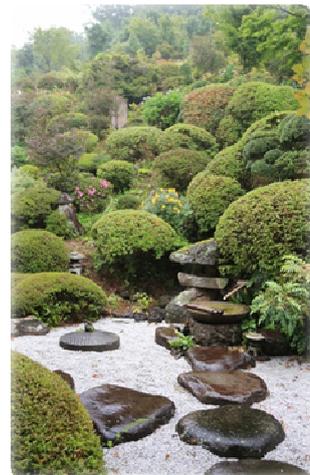
早春の福寿草と節分草にはじまり、春ともなればクリスマスローズ、

オキナ草、日本さくら草、カッコウ草、エビネ等々……。梅雨時は多種の

紫陽花。秋は彼岸花の

参道。紅葉に染まり、冬は多様な椿たち。十月桜もあり、花好きな奥様のゆ

きとどいたお手入れで、花の絶え間がありません。



そしてもうひとつ、東京の宗務庁勤

務のご位職自ら主宰される坐禅会（月1、不定期、要お問い合わせ）。

花の天井絵、先代ご位職の書を見つつ、あなたも坐ってごらんになりませんか？



雲門寺 〒379-0211 群馬県安中市松井田町上増田 624 電話/FAX 027(393)0335

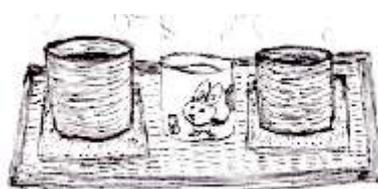
編集後記

2月に飼い始めた猫に、3月子猫が4匹生まれました。一時は真っ青に。でも、日々成長する可愛い姿にメロメロ。お陰様で無事4匹とも貰われて、福ちゃん、まやちゃん、ネロちゃん、ミニカちゃんと立派な名前も付けてもらい、幸せに暮らしているようです。夫は、娘を嫁に出した心境だと泣いています。楽しい思い出をありがとう！！（Y）

7月初旬、草津へコアジサイをみにいった。“世界で一番いい香り”という新聞記事に心ひかれて……。広葉樹の奥、すける青空。コアジサイにうめつくされた小径。小さな花はひかえ目な甘い香り。ひたすらに包みこまれ、命がのびたしあわせな一日。（知）

このところ、早起きになった。お弁当作り、畑の作業、草むしり、洗濯、そうじ、内職のミシンかけ、「やりたいこと」をやる時間を確保できるようになったから、自然と目が覚めるようになったみたい。（R）

今回も素敵な方との出会いがありました。お宅まで行ってお話を伺えるというのは嬉しいお役目です。記事にするには労力を使いますが、森の家の編集委員は助けあって通信を作っています。その連携プレイが、他にはない森の家特有のシステムのように思います。いままでの（きづな）これからの（きずな）に大きな可能性を感じました。今の世の中に欠けているものを大切に作る心が変わりませんように！！（内田）



まついだ森の家 ご紹介

◎ ホームページURL <http://www.normanet.ne.jp/~morinoie/>
「まついだ森の家」で検索してください

ホームページトップから、ブログをごらんになれます。

*まついだ森の家のホームページは、視覚障がいの方のための読み上げソフトに対応しています。

◎ ブログURL <http://matsuidamorinoie.gunmablog.net./>
「まついだ森の家里山日記」で検索してください

◎ E-mail matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp

◎ 森Cafeブログ 「バリアフリーまついだ森 cafe 日和」
<http://moricafe.blog.ocn.ne.jp/>

まついだ森の家応援団会員 いつでも募集中！

NPO法人まついだ森の家は、二つの柱を立てて活動しています

* いろいろなハンディをお持ちの方とその支援者に対して
気兼ねなく泊まれる宿と、交流の場を提供する。

* 里山の豊かな自然環境を発信していく。

その存在を応援してくださる方々が「応援団会員」です。

年会費は 10,000円、3,000円、1,000円 です。

「まついだ森の家通信」年2回と、各種イベントのご案内をお送りいたします。よろしくご支援ください。

お振込先 ゆうちょ銀行

口座番号 00100-9-631710

加入者名 NPO法人まついだ森の家

応援団会員 お名前 追加分 (順不同・敬称略)

納富沙織 安川江美 油木時子 一場正人 藤井玲子 横谷香代子 栗田俊昭 山村孝子 中橋奈緒子
金子真梨子 白石恵子

ご支援ありがとうございました。

ご報告

2012年5月27日開催の今年度総会において、

新理事 吉井貴志(安中市松井田町上増田)の就任が承認されました。

「まついだ森の家」の情報は、

まついだ森の家のホームページ及び群馬県のホームページ上で公開されています。